

総合型地域スポーツクラブを核とした活力ある地域づくり推進事業実践事例

都道府県名

愛媛県

受託団体名

(財)愛媛県スポーツ振興事業団(えひめ広域スポーツセンター)

実践テーマ 「スポーツ参加意識の向上」

「学校、地域との連携による子どもから高齢者までのスポーツ活動の充実を目指して」

【テーマ設定の理由】

総合型クラブが、スポーツ活動に対して必ずしも関心が高くない住民を対象にスポーツへの参加意識を向上させる取り組みを行うとともに、より多くの地域住民が、生涯にわたりスポーツに親しむことができる地域づくりのための拠点となることで、継続してスポーツ活動のできる環境を整備していく。

実践クラブ評価委員会

穂岡 謙治
県体育協会、県スポーツ少年団本部長
(総合型地域スポーツクラブ育成委員会委員長)

黒田 美勢子
県レクリエーション協会副会長
(県レクリエーション・コーディネーター会会長)

金村 毅
松山大学名誉教授
(総合型地域スポーツクラブ育成委員会委員)

中野 明彦
(元中学校校長・久万高原町在住)

岡部 琢
(県体育指導委員協議会会長)

三好 尊史
(県教育委員会保健スポーツ課指導主事)

栗田 和夫
前 日本体育協会地方企画班員
(前総合型地域スポーツクラブ育成委員会委員)

作田 拓
(県体育協会クラブ育成アドバイザー)

課題解決のために連携をとった機関・団体

- 愛媛県教育委員会保健スポーツ課
- 久万高原町教育委員会
- 久万高原町立久万小学校
- 上浮穴郡公民館連絡協議会
- NPO法人愛媛県レクリエーション協会
- 久万高原町PTA連合会

【上記機関・団体と連携をとった効果】

総合型クラブと教育委員会、学校、PTA、公民館等が連携し、子どもから高齢者まで、誰でも、気軽に参加できるスポーツ環境の整備を目指す事業を展開することができた。また、総合型クラブと学校、県レクリエーション協会が緊密に連携し、スポーツ活動に対して関心が高くなかった子どもたちにも魅力的なスポーツ環境の整備を目指す事業を展開することができた。

実践クラブ名 総合型久万スピリッツクラブ

【クラブ概要】

- ・設立年月日 平成 16 年 3 月 18 日 設立
- ・クラブ所在地 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2番1644-1 久万B&G海洋センター
- ・クラブの特色 当クラブは町民の健康づくり、生きがいくくり、青少年の健全育成を目的として、地域に根差したクラブづくりに地道に取り組んでいるものの、過疎化、少子高齢化が進む中山間地域であり、総合型クラブの会員やスポーツイベントの参加者も減少傾向にある。また、子どもの体力低下やスポーツする子としない子の二極化も問題となっており、子どもを含めた地域住民のスポーツ参加意識の向上が課題となっている。
- ・クラブマネジャーの活動状況
- ・会員数(H21.3.1現在) 104 人
- ・定期活動種目数 18 種目
- ・会費の種類と金額 年会費:大人3,000円、小～高校生1,200円、幼児無料(保険料は別)
- ・平成20年度総予算額 2,856,605 円

◆プロジェクトのねらい

総合型クラブが学校と緊密に連携し、運動の機会が乏しい子どもやスポーツの苦手な子どもを対象とした「小学生ニュースポーツ教室」等を久万小学校を会場として実施し、運動する楽しさ体験を通してスポーツへの関心を高める。

◆実施概要

各教室の実施月は、7月、10月、11月、12月とし、3年生から6年生を対象に、水曜日の放課後を活用して、各月3回「小学生ニュースポーツ教室」「親子ふれあい遊びの広場」「小学生スポーツ広場」と内容を変えて実施した。なお、実施に先立ち、児童対象の一日体験教室を行うとともに、日曜参観日に保護者への事業説明会を行い、広く参加を呼びかけた。

◆参加者数 述べ342人 (第1回37人、第2回47人、第3回34人、第4回36人、第5回52人、第6回24人、第7回44人、第8回13人、第9回38人、第10回17人)

◆活動の様子



◆評価

参加した子どもたちの87.5%が、「とても楽しかった」「楽しかった」と答えており、体を動かすことの楽しさを体感することができた。スポーツが苦手だと思われる子どもたちが多く参加し、体育の授業では経験したことがなかったニュースポーツやレクリエーション種目に対して、生き生きと活動する様子が見られ、スポーツへの関心の高まりが見られた。また、体育専科教員が指導者として参加してくれたり、説明会の開催を参観日に設定してくれたり、学校やPTAとの連携も深めることができた。

◆プロジェクトのねらい

気軽にできるスポーツを体験することで、自分にあった運動を見つけて定期的にスポーツに取り組む機会を増やすために「スポーツ体験フェスタ」を行い、地域住民のスポーツへの参加意識を高める。

◆実施概要

エアロビクス、ヨガ・ピラティス、太極拳の3種目を2回ずつ実施した。参加者の募集に当たっては、町の協力を得て、啓発パンフレットや教室開催案内を町内の全戸へ配布して参加者を募った。ヨガ・ピラティス、太極拳への参加者からは、ゆったりとした動きが心地よく、日ごろの作業の疲れがとれると好評で、回数を増やして欲しいという要望があった。

◆参加者数 延べ86人

エアロビクス(第1回12人、第2回20人)、ヨガ・ピラティス(第1回13人、第2回15人)、太極拳(第1回12人、第2回14人)

◆活動の様子



◆評価

地域住民の誰もが気軽にスポーツ教室に参加できるように広報活動に力を入れ、初心者も体験しやすいように配慮した。ヨガ・ピラティスは人気があり、当初の計画よりも回数を増やして実施した。参加者からは好評であったが、初心者が少なかったのは残念であり、今後ともねばり強い住民への働きかけと住民のニーズにあった教室の開設が必要である。

実践プロジェクト③ スポーツ教室

◆プロジェクトのねらい

常時活動として、エアロビクス他3つの教室を開催するに当たり、広報活動や活動内容の改善を行い、地域住民の誰もが気軽に参加できるようにして会員の増加を図る。特に、ウォーキング教室は、経験者とともに初心者にも積極的に呼びかけ、気軽に参加できるスポーツとして定着を図っていく。

◆実施概要

エアロビクス、アクアシェイプ、ヨガ・ピラティス、太極拳の4教室を設け、日ごろスポーツ教室に継続して参加している人とスポーツ体験フェスタを機に参加した初心者が一緒になって実施できるように配慮した。総合型クラブの運営委員も毎回活動をサポートし、新たな会員の確保と楽しい雰囲気づくりに努めた。また、ウォーキング教室の開催にあたっては、専門の講師を招聘し、正しいウォーキングの仕方を中心に、参加者が十分満足できるような質の高い内容になるように努めた。

◆参加者数 延べ549人
エアロビクス(12回一延べ155名)、アクアシェイプ(4回一延べ35名)、ヨガ・ピラティス(4回一延べ70名)、太極拳(18回一延べ248名)、ウォーキング(1回一41名)

◆活動の様子



◆評価

スポーツ体験フェスタへの参加を通してスポーツに興味を持ち、その後スポーツ教室に参加するようになった人も見られ、大いに効果があったと思われる。健康づくりを兼ねた常時活動として久万高原町に根付く活動となっていくためには、講師謝金等の経費を確保するため、更なる会員の確保が必要である。

◆プロジェクトのねらい

親子と一緒に汗を流しながらふれあいを深め、気軽にスポーツ体験ができる「サンデースポーツ」のプログラムを設けることによって、地域住民のスポーツへの参加意識を高めるとともに、地域活性化につながる楽しい行事として定着していくことを目指す。

◆実施概要

「川ガキになろう！！」は、久万ならではの清流を生かし、親子が自然に親しめる事業として定着してきている。「しめ縄づくり」は、年末の行事としてお年寄りも子どもも楽しみにしており、地域の人たちが一緒になってしめ縄づくりに挑戦しており、年末恒例の行事となっている。「スキー・スノーボード教室」は、地元のスキー場を会場に、未就学児、小学生、大人と多くの参加があり、冬季のスポーツとして大変人気がある。これらの事業は、今後も地元で根付いていくと思われる。

◆参加者数 延べ414人

川ガキになろう1回(65人)、初めてのサッカー1回(20人)、初めてのタグラグビー2回(述べ75人)、しめ縄づくり1回(60人)、スキー・スノーボード教室5回(述べ194人)

◆活動の様子



◆評価

サンデースポーツは、久万高原町の自然や施設を活用した特色ある事業で、総合型クラブが核となって地域住民を巻き込んだ活動となっている。事業の認知度が低いため参加者は伸び悩んでいたが、学校や公民館と連携して広報活動に力を入れた結果、参加者の増加がみられた。特に、「川ガキになろう」では、通りがかりの家族が看板を見て急遽参加するなど、今後町外にも広報していくことで、活力ある地域づくりに貢献できる事業に発展していくと思われる。

その他の取組

- ・総合型クラブと久万高原町PTA連合会が連携・協力して、大阪教育大学教育学部教授 赤松先生を講師に招き、子どもの体力向上や地域スポーツのあり方などについての講演会を開催した。120人余りの住民が参加し、スポーツクラブづくりと地域づくりなど、内容の濃い講演を聴くことができた。
- ・総合型クラブの事業活動として、7種目のスポーツ活動があるが、その中の和太鼓は地域の伝統芸能である「明神太鼓」などの練習に励んでおり、公民館主催の「久万高原町マラソン大会」でオープニング演奏を披露するなど、地域行事にも積極的に参加している。

本事業の成果

- ・総合型クラブが、生涯にわたってスポーツに親しむための拠点としての機能を発揮し、年間を通じて誰もが参加しやすい「スポーツ教室」や親子で気軽に参加できる「サンデースポーツ教室」に加え、「スポーツ体験フェスタ」や「出前スポーツ教室」などを積極的に行い、スポーツへの参加意識の向上を目指した活動を展開してきた結果、総合型クラブの認知度は徐々に上がってきた。
- ・運動をする子どもと、しない子どもの二極化が進む中で、運動をしない子どものスポーツ活動参加を促すため、学校と連携して、小学生ニュースポーツ教室などを開催してきた。参加した子どもたちは運動する楽しさを体感し、学校やPTA、地域との連携も深まってきた。
- ・平成20年度に実施した「住民意識調査」によると、運動やスポーツを「自分でするのも、見るのも好き」「自分でする方が好き」を合わせると61%あり、スポーツへの関心は高いことがわかった。しかしながら、過去1年間のスポーツ活動については、「週に3回以上」が14%、「週に1～2回」が16%と、両方合わせても全体の30%しかなく、定期的に運動している人はまだまだ少ない状況であった。また、余暇時間の過ごし方をみると、「ごろ寝、テレビ、ゲーム」が多く、スポーツへの関心は高いが、スポーツを通して健康づくりに励んでいる住民は少ないことが分かった。そのため、地域住民のニーズを掘り起こし、楽しみながら気軽に参加でき、健康づくりに役立つ事業の実施が今後望まれる。
- ・久万小学校3～6年生対象のアンケート結果をみると、体を動かすことが「とても好き」「好き」な子どもが87%にも及び、他校に比べるとスポーツ少年団の加入率も高く、日常的にスポーツをしている子どもは70%であった。なお、参加していない子どもたちの理由としては、「習い事をしているため」や「活動内容への興味がない」というものが多かった。

本事業の課題と今後の取組

- ・スポーツ教室やスポーツ体験教室等、多くの事業を展開し、久万スピリッツだよりの発行など広報活動にも努めてきたが、期待していたほどの参加者や会員の増加は見られなかった。今後、旧久万町周辺地域への広報活動や出前スポーツ教室など細やかな事業を行うことにより、より多くの地域住民に向けた活動の広がりが求められる。
- ・久万小学校を会場に実施した小学生ニュースポーツ教室やサンデースポーツは好評で、継続を求める声も多く、総合型クラブと学校、PTA、地域との連携も深まってきた。今後、幼稚園児とその母親を対象にしたふれあい遊びなど対象を広げていくことで、より地域の活性化につながる事業展開が期待できる。
- ・町内には小規模校が点在しているため、スポーツ少年団に参加したくてもできない子どもも多く、久万小学校以外の子どもを対象にした事業の展開も望まれる。
- ・住民意識調査によりスポーツをするのが好きな人は62%、一方、週1回以上スポーツ活動をしている人は38%であり、今後ともスポーツ活動の実施にむけて取り組んでいくことが求められる。

(本件問合せ先: (財)愛媛県スポーツ振興事業団(えひめ広域スポーツセンター))

TEL089-963-2216